



いっぺいといっぱく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えします。
市HP「によぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.79 「待てない」大人

長久手市では、令和3年10月に向け、就学前の児童への発達支援を行う児童発達支援センターの開設準備を進めています。そのために私は、今、発達障害を研究する大学の先生、実際に子ども達と関わる専門医師、他自治体で同様の施設を運営している団体の代表者等、さまざまな人に話を聞いています。

発達支援に携わる方々の話を聞けば聞くほど、子どもの問題ではなく、子どもの凸凹しながらも、ゆっくりと右肩上がりで成長していくことを待つことができない、経済成長時代の「良いものにこそ価値がある」という考え方から抜け出せない大人の問題だと思ふようになりました。

子ども達を測るモノサシは、勉強、学校というモノサシ1つである必要はありません。

地域で子ども達に日本の文化をボランティアで教えている人が、「脱いだ靴は揃えるんだよ」と子どもに教えたら、次に会ったとき、「家で靴を揃えたら、お父さんから褒められた!」と、うれしそうに話してくれたことがあったそうです。「靴が揃えられたことを褒める」といったような複数のモノサシが持てるようになれば、子どもも親も楽になれると思うのです。

万葉集^{やまのうえのおくら}で山上憶良が、次のようにうたっています。

『銀も金も玉も 何せむに 勝れる宝 子に及かめやも』

銀も金も玉もどれほどのことがあるうか。どんな宝も子どもには遠く及びはしない。

子ども達に、上も下もありません。たった1つの大切な命、大切な宝です。

一人ひとりそれぞれに良いところがあり、その良いところを褒め、伸ばすことができる、そして親の悩みを救うことができる発達支援センターにしていきたいと思っています。

子どもは、自然そのものです。気候の暑さ、寒さが思いどおりにならないように、子どもは大人の思いどおりになりません。それを大人の意のままにしようとしていないでしょうか。便利な生活を送るうちに、いつしか私たち大人は、「何でも自分の思うようになる」と錯覚していないでしょうか。相手を思いやることや、互いに辛抱することを忘れてはいないでしょうか。

今の社会は、他人の失敗を許さぬ社会であり、それが、未来を担う子ども達を締め付けていると感じます。

会社に行く、学校に行く、友達と会って食事をするといった今まで当たり前だったことが、当たり前にならなくなった今回のコロナ禍を経験した今だからこそ、今の子ども達を締め付ける社会の有り様を見直すきっかけにできればと思います。

子ども達が、もっとおおらかに暮らせる長久手に変えるために、大人はどうしたらいいのか、一緒に考えませんか。

ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは! 西小学校区まちづくり協議会 検索 です。

今年度は、総会の開催に代えて書面議決を行いました。ご参加・ご協力ありがとうございました。

集計の結果は、西小学校区共生ステーションの掲示板、西小学校区まちづくり協議会のホームページに掲載しています。ご確認ください。

◆三世代運動会中止

例年9月に西小学校で開催している三世代運動会ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は、中止とします。

☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞

市が洞小学校
イメージキャラクター

小学校区まちづくり協議会

<http://ichigahora.sakura.ne.jp/> (協議会HP)

■「ご意見等」に関する意見交換会を実施しました

2020年度総会の書面表決に際しては、事前の各議案に対する質疑応答の機会もありませんでしたので、こうした状況を少しでも補充するため「ご質問等」欄に意見表明があった方10名にご参加をいただき、7月19日(日)共生ステーションで協議会との意見交換を行いました。

協議会の運営や議案等に関するご意見など20件の質疑応答の中で、参加者のご意見をお聞きし、また、協議会の現状や考え方をお伝えすることができました。有難うございました。



長久手市地域見守り安心ほっとライン

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

0561-63-5556

24時間
365日受付

